

ナンバリングコード B2JPN-abxG-10-Lg1 授業科目名 (時間割コード: 071101) 日本語 I a Japanese I a 日本語 I a Japanese I a	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期月3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lg	単位数 1	
担当教員名 山下 直子	関連授業科目	日本語 I b、c	
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分×15回 + 自学自習			
授業の概要 本授業では、大学で学ぶために必要な日本語の力を身につけることをめざして、「聞く」「話す」「読む」「書く」の四技能を総合的にのばす練習を行います。特に、「聞く」と「話す」力をつけることに重点をおいて学びます。			
授業の目的 この授業は、日本語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」に対応）の中で、特に「聞く」「話す」能力の育成に重点を置きます。大学生活のさまざまな場面での日本語を聞く練習、日本語で書かれた短い文章の理解や自分の国・文化などのテーマについてスピーチをすることを通して、大学で学ぶための基礎的な日本語の力を身につけることを目的とします。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
①日本語を「聞く」「話す」ための基礎的な能力を身につける。 ②日本語の短い文章を聞いたり読んだりして、内容を理解できる。 ③自分の国や文化などについて、まとまった話ができる。			
成績評価の方法と基準 出席状況と授業での積極性（20%）、課題（20%）、中間試験（20%）、期末試験（40%）により評価を行います。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 大学生活のさまざまな場面での日本語を聞く・話す練習を行います。また、自分の国や文化などのテーマについて、スピーチを作り発表します。 【授業計画】 第1回 インTRODクシヨン 第2～4回 全体の話をつかむ 第5回 スピーチ1 観光 第6・7回 テーマとキーワードを考える 第8回 中間試験 第9回 メモをとる 第10回 スピーチ2 習慣の違い 第11～12回 話の構成を考える 第13回 要約する 第14回 発表準備 第15回 スピーチ3 インタビューの報告 第16回 定期試験 ※受講者に合わせて内容は一部変更する場合があります 【自学自習に関するアドバイス】 第1～4回 授業で学んだ表現・語彙について整理する 第5回 スピーチを復習し次回の材料を集める 第6・7回 授業で学んだ表現・語彙について整理する 第8回前半に学んだことを復習する 第9回 授業で学んだ表現・語彙について整理する 第10回 スピーチを復習し次回の材料を集める 第11～13回 授業で学んだ表現・語彙について整理する 第14回 スピーチの準備をする 第15回 全体の復習をする			
教科書・参考書等 必要に応じて資料を配布します。			
オフィスアワー 火曜日10:30から11:30 第一回目の授業時に連絡方法を説明します。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 受講者は、日本留学試験（日本語）250点以上、日本語能力試験N1合格をめざす日本能力が必要です。			

ナンバリングコード B2JPN-abcG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 071102) 日本語 I b Japanese I b 日本語 I b Japanese I b (Intermediate)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 abcG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 塩井 実香	関連授業科目	他の日本語科目	
	履修推奨科目	他の日本語科目	
学習時間 90時間×15回+自学自習			
授業の概要 日本の社会で生活し、日本の大学で学ぶために必要な日本語能力、特に「読む」力と「書く」力を養うことを目指す。7月実施の日本語能力試験の受験予定者が多い場合は、4～6月に、受験級に応じた試験対策を行うこともある。			
授業の目的 語彙・文法・漢字などを習得し、読解力を高め、適切な表現を用いて自分の意見を表明する力を身につけ、日常生活や大学での学業において必要な情報収集や情報発信を行う。(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」(幅広いコミュニケーション能力)に対応)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<ul style="list-style-type: none"> ・中上級から上級の語彙・文法・漢字が使えるようになる。 ・資料や文章を見たり読んだりして、適切に情報を得ることができる。 ・自分の言葉で意見が伝えられるようになる。 			
成績評価の方法と基準 出席状況・授業態度・課題提出などにより総合的に判断する。(具体的には授業時に説明する。)			
授業計画並びに授業及び学習の方法 文章やデータ等を正確に理解し、それらをふまえて自分の意見がしっかり表明できるようになることを目指す。受講者には、積極的な授業参加と自学自習が求められる。予習が必要な事項や課題提出についてはその都度指示するが、それ以外にも、各自で適宜復習したり関連事項を学習したりして学習を深めることが望ましい。以下はあくまで予定であり、授業内容は、受講者のレベルやニーズによって変更することもある。その場合は、授業時に再度説明する。 (1) ガイダンス、自己紹介 (2) 自己分析、他者理解 (3) 〃 (4) 言葉と文化 (5) 〃 (6) 教育 (7) 〃 (8) 歴史 (9) 〃 (10) ジェンダー (11) 〃 (12) 働くということ (13) 〃 (14) 環境問題 (15) 〃 【自学自習に関するアドバイス】 予習用教材が配布されたら、未習語彙や文法等について調べ、読んでおく。 授業が終わったら復習をする。 宿題や課題等が提示されたら、所定の期日までに調べたり意見をまとめたりしておく。			
教科書・参考書等 購入しなくてよい。必要に応じて資料を配布する。			
オフィスアワー 木曜日14時40分から16時10分まで、研究室(幸町北キャンパス5号館5階)にて対応します。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業内容は、出席する学生の状況に応じて変更する場合がある。積極的・主体的な授業参加を求める。			

ナンバリングコード B2JPN-abxG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 071103) 日本語 I c Japanese I c 中級作文 Japanese I c (Writing, Intermediate Level)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期火2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 高水 徹	関連授業科目	他の日本語科目	
	履修推奨科目	他の日本語科目	
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 ※ この授業は主に中級向けです。 日本語の文章によるコミュニケーションを適切に行うための練習を行う。授業ではまず書くための知識を整理し、その後実際に書く練習を行う。書いた文章を添削して解説することも、頻繁に行う予定である。			
授業の目的 主に大学における様々な場面で書き言葉によるコミュニケーション(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応)ができる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. わかりやすく、正確な日本語で書くことができる。 2. 文章全体を読み手にとってわかりやすく構成できる。			
成績評価の方法と基準 授業中に出す課題とレポートで評価する予定だが、クラスの状況により変更する可能性もある。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
講義形式による説明や解説の後、実際に文章を書く練習をする。 (1) 自己紹介や自己PR (2) 定義と変化 (3) 形式的注意点や文体 (4) 比較 (5) 作文コンテストについて1 (6) 作文コンテストについて2 (7) 作文コンテストについて3 (8) 課題に対する意見1 (9) 分類と説明 (10) 文章の構成 (11) 修正 (12) キーワード作文 (13) 課題に対する意見2 (14) 最終課題1 (15) 最終課題2 ※ ただし、内容や順序は状況に応じて一部変更する場合があります。			
【自学自習に関するアドバイス】 第1～4週 今後の基礎になる部分なので、復習を中心に。 第5～7週 授業中の指示に従い、締め切りまでに提出する。 第8週 課題文に対して、説得力のある意見を述べる。 第9～11週 これらは、常に役立つ基本的な技術なので、特に意識的に使用する。 第12週 ここまでに学習したことに基づき、キーワードから発想を広げる。 第13週 課題文に対して、説得力のある意見を述べる。 第14～15週 例年最終課題に、学習したことが活かされていない作文があるので、注意。			
教科書・参考書等 教材は必要に応じて配布する。			
オフィスアワー 火曜日13:30～14:30、北5号館5階または南2号館1階。 (ただし、変更する場合は授業時に連絡。)			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 必ず出席し、課題やレポートを提出すること。また、理解できない場合には質問することが大切である。			

ナンバリングコード B2JPN-abxG-10-Lg1 授業科目名 (時間割コード: 071201) 日本語Ⅱa Japanese Ⅱa 中級日本語 Intermediate Japanese (Listening & Speaking)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lg	単位数 1	
担当教員名 佐藤 美穂	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分×15回+自学自習			
授業の概要 日本での日常生活および学生生活に必要な日本語能力を養うことを目的としたクラスで、特に「聞く・話す」能力を伸ばすことを中心とした学習活動を行う。			
授業の目的 身近な話題に関する情報を聞きとる能力を養い（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)、その話題について自ら話すために必要な基礎的な文法を復習し、さらに新しい文法を学び、それらを用いて口頭で表現できる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 身近な話題に関する情報を聞きとることができる。 2. その話題について日本語で口頭表現できる。			
成績評価の方法と基準 出席と授業参加状況10%、課題提出(作文)20%、小テスト10%、発表20% 定期試験40%			
授業計画並びに授業及び学習の方法 さまざまなトピックについて話されている聴解教材を用いる。			
第1回 ガイダンス、「写真を見ながら友だちを紹介する1」 第2回 「 〃 2」 第3回 「自分や友だちの性格について話す1」 第4回 「 〃 2」 第5回 「自分の国(町)について紹介する1」 第6回 「 〃 2」 第7回 「自分の国(町)の位置や歴史、特色などについて紹介する1」 第8回 「 〃 2」 第9回 「あなたの国(町)を旅行する日本人の友だちにアドバイスする1」 第10回 「 〃 2」 第11回 発表(パワーポイントを使って自分の国や町の紹介をする) 第12回 「日本に来てからの生活の変化について話す1」 第13回 「 〃 2」 第14回 「自分の国(町)の人々と比べながら、日本人の印象について話す1」 第15回 「 〃 2」 第16回 定期試験			
※内容や順序は状況に応じて一部変更する場合がある。			
【自主学习に関するアドバイス】 1つのテーマにつき2回授業を行う。2回目の授業の最初に語い・漢字について的小テストを行うので、その準備をすること。2回目に作文の課題を出すので、授業で取り上げた表現について復習すること。			
教科書・参考書等 テーマごとに資料を配布するので、とくに購入しなくてよい。			
オフィスアワー 授業中			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業内容等は受講学生の状況に応じて変更する場合もあるが、積極的な授業参加が評価に大きく影響する。			

ナンバリングコード B2JPN-abxG-10-Lg1 授業科目名 (時間割コード: 071202) 日本語Ⅱb Japanese Ⅱb 中級日本語 Intermediate Japanese (Reading & Writing)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期水3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lg	単位数 1	
担当教員名 佐藤 美穂	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分×15回+自学自習			
授業の概要 日本での日常生活および学生生活に必要な日本語能力を養うことを目的としたクラスで特に「読む・話す」能力を伸ばすことを中心とした学習活動を行う。			
授業の目的 日本語の基礎的な語彙や漢字、文法を使いながら日本の大衆文化について学習することで、日本の文化や社会を理解し、日常生活において日本語を使用する機会を増やし、日本語の運用力を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 日本の大衆文化について理解する。 2. 日本語を使って自分の考えを文章や口頭で伝えることができる。			
成績評価の方法と基準 出席と授業参加状況 10%、課題提出 20%、発表 20%、定期試験 50%			
授業計画並びに授業及び学習の方法 授業は身近な題材から分かりやすい文章を学生同士や先生と議論しながら考えていく。グループで課題を完成させ、発表する。毎回宿題を課す。			
第1回 日本漫画 1 第2回 日本漫画 2 第3回 日本漫画 3 第4回 日本漫画 4 第5回 浮世絵 1 第6回 浮世絵 2 第7回 浮世絵 3 第8回 日本のアニメ 1 第9回 日本のアニメ 2 第10回 日本のアニメ 3 第11回 日本のアニメ 4 第12回 日本の歌 1 第13回 日本の歌 2 第14回 日本の歌 3 第15回 定期試験			
※内容や順序は状況に応じて一部変更する場合がある。			
【自主学習に関するアドバイス】 各回の読み物について読み、課題を提出すること。			
教科書・参考書等 必要に応じて資料を配布するので、とくに購入しなくてよい。			
オフィスアワー 授業中			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業内容等は受講学生の状況に応じて変更する場合もあるが、積極的な授業参加と課題提出が評価に大きく影響する。			

ナンバリングコード B2JPN-abcG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 071203) 日本語Ⅱc JapaneseⅡc 日本語Ⅱc JapaneseⅡc (Intermediate)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期末2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 abcG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 塩井 実香	関連授業科目	他の日本語科目	
	履修推奨科目	他の日本語科目	
学習時間 90時間×15回+自学自習			
授業の概要 日本の社会で生活し、日本の大学で学ぶために必要な日本語能力を養うことを目指す。 12月実施の日本語能力試験の受験予定者が多い場合は、授業前半(10～11月)に、受験級に応じた試験対策を行うこともある。			
授業の目的 語彙・文法などを習得し、聴解力・読解力・発話力(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」(幅広いコミュニケーション能力)に対応)を高めることにより、日常的なコミュニケーションや大学での学業を円滑に行うことができる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<ul style="list-style-type: none"> ・中上級から上級の語彙・文法が使えるようになる。 ・資料や文章を見たり読んだりして、適切に情報を得ることができる。 ・自分の言葉で意見が伝えられるようになる。 			
成績評価の方法と基準 出席状況・授業態度・課題提出などにより総合的に判断する。(具体的には授業時に説明する。)			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<p>場面や状況に応じたコミュニケーション能力を高めていけるよう、適宜、視聴覚教材・新聞・雑誌・関連図書なども用いながら学習を進めていく。</p> <p>受講者には、積極的な授業参加と自学自習が求められる。予習が必要な事項や課題提出についてはその都度指示するが、それ以外にも、各自で適宜復習したり関連事項を学習したりして学習を深めることが望ましい。</p> <p>以下はあくまで予定であり、授業内容は、受講者のレベルやニーズによって変更することもある。その場合は、授業時に再度説明する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ガイダンス、自己紹介 (2) 説明、紹介、提案など (3) // (4) // (5) 連絡、伝言、確認など (6) // (7) // (8) 依頼、勧誘、許可、謝罪など (9) // (10) // (11) 相談、助言、苦情など (12) // (13) 討論、発表、質疑応答など (14) // (15) // <p>【自学自習に関するアドバイス】 予習用教材が配布されたら、未習語彙や文法等について調べ、読んでおく。 授業が終わったら復習をする。 宿題や課題等が提示されたら、所定の期日までに調べたり意見をまとめたりしておく。</p>			
教科書・参考書等 購入しなくてよい。必要に応じて資料を配布する。			
オフィスアワー 木曜日14時40分から16時10分まで、研究室(幸町北キャンパス5号館5階)にて対応します。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業内容は、出席する学生の状況に応じて変更する場合がある。積極的・主体的な授業参加を求める。			

ナンバリングコード B2JPN-abxG-10-Ex1 授業科目名 (時間割コード: 071301) 日本語Ⅲa Japanese Ⅲa 日本語3a (Japanese 3a)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期月3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 轟木 靖子	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 この授業は原則として学部1年生が対象となる。上級レベルの聴解練習をおこなう。主に日本の社会・文化・慣習について述べた文章を録音したテープ教材を用いる。日本語教師やアナウンサーのように、「ゆっくりはっきり話す」のではなく、一般の日本人が普段放送を通じて聞いている程度のスピードや、あらたまった文体や言葉遣いに慣れることにより、日本人学生と共に受講する授業についていける能力を育む。			
授業の目的 大学生活を送るうえで必要となる基礎的な聴解能力を身につける。これにより、日本人学生と共に受講する講義や演習の理解度を高めることができる。この授業は、日本語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」に対応）の中でとくにリスニング能力の育成に重点を置く。15回の授業をとおして受講生の日本語でのリスニング能力を向上させることを目的とする			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 日本人がゆっくり話していないものであっても、内容をつかむことができる。 2. 様々な学問分野で共通に使われる日本語の言い回しや文体に慣れ、自分で書く論文やレポートに生かすことができる。			
成績評価の方法と基準 出席状況(1/3)、中間試験(1/3)、期末試験(1/3)による。出席状況には、授業態度や提出物を含む。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
【授業の方法】 最初はテープを聞き、文字に頼らずどのくらい理解できるかを試し、内容についての質疑応答、ワークシートを用いた語彙・文法の学習をおこなう。最後にスクリプト（文字化資料）を見ながら確認する。			
(1) Introduction (2) 春彼岸と秋彼岸 (3) 秋晴れ (4) 〃 (5) 香川県の産業 (6) 若者と仕事 (7) 説得力のある話し方 (8) 〃 (9) 〃 (10) 敬語なんてこわくない (11) 〃 (12) 脱・若者ことば (13) ニュースを聞く (1) (14) ニュースを聞く (2) (15) まとめ (16) 期末試験			
【自学自習に関するアドバイス】 語彙・文法については授業で配布したプリントをよく復習しておくこと。テープは、授業の翌月から外国語自習室でダビングすることができるので、必要な場合は各自でおこなうこと。			
教科書・参考書等 授業中にプリントを配布する。			
オフィスアワー 月曜日 14:30～15:00 幸町北キャンパス4号館3階 研究室			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 聴解が中心といっても、内容は語彙、文法、表現など多岐にわたります。復習をしっかりとやりましょう。			

ナンバリングコード B2JPN-abxG-10-Lg1 授業科目名 (時間割コード: 071302) 日本語Ⅲb Japanese Ⅲb 中級日本語 Intermediate Japanese (Writing)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lg	単位数 1	
担当教員名 佐藤 美穂	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分×15回+自学自習			
授業の概要 本授業では、日本語の文章表現のルールを学び、使えるようになることを目指す。特に論文やレポート、日常の文章などを自然な日本語で書けるようにする。			
授業の目的 日本語の書き言葉のルールを習得し、それに従って自分が書いた文章を、読む人の立場に立って直せるようになる(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 日本語の書き言葉のルールを習得する。 2. 日本語の書き言葉のルールに従って文章が書ける。 3. 他人の文章が校正できる。			
成績評価の方法と基準 出席と授業参加状況 10%、小テスト 20% 課題発表 20%、定期試験 50%			
授業計画並びに授業及び学習の方法 日本語中級・上級学習者が書いた文章を読んで、正しい文に直す練習をすることによって、日本語の書き言葉のルールを学ぶ。授業中に短い文章を書き、その文章が自然な日本語になるように学生同士で検討する。			
第1回 ガイダンス、文法・文型① 第2回 文法・文型② 第3回 文法・文型③ 第4回 文字・表記① 第5回 文字・表記② 第6回 文字・表記③ 第7回 語彙・意味① 第8回 語彙・意味② 第9回 語彙・意味③ 第10回 文章・談話① 第11回 文章・談話② 第12回 文章・談話③ 第13回 実践編① 第14回 実践編② 第15回 実践編③ 第16回 定期試験			
※内容は状況に応じて変更する場合がある。			
【自主学習に関するアドバイス】 授業で取り上げた日本語の文章表現のルールを理解して文章を書き、その文章がルールに従って書けているか読み返してみる。			
教科書・参考書等 必要に応じて資料を配布するので、とくに購入しなくてよい。 購入しなくてもよいが、『留学生のためのここが大切文章表現のルール』スリーエーネットワーク			
オフィスアワー 授業中			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業内容は受講学生の状況に応じて変更する場合もあるが、積極的な授業参加が評価に大きく影響する。			

ナンバリングコード B2JPN-abxG-10-Ex1 授業科目名 (時間割コード: 071401) 日本語IVa Japanese IVa 日本語4a (Japanese4a)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期月3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 轟木 靖子	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 +	自学自習		
授業の概要 この授業は原則として学部1年生が対象となる。上級レベルの聴解練習をおこなう。主に現代日本の社会や文化をテーマに取り上げたテレビあるいはラジオ番組をもとにして作った教材を用いる。日本語教師やアナウンサーのように、「ゆっくりはっきり話す」のではなく、一般の日本人が普段見聞きしている映像や音声に慣れることにより、日本人の考え方について深く理解し、また日本人学生と共に受講する授業や演習へ積極的に参加する能力を育む。			
授業の目的 前期に引き続き大学生活を送るうえで必要となる基礎的な聴解能力を身につけることができる。これにより、日本人学生と共に受講する講義や演習の理解度を高めることができる。この授業は、日本語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」に対応）の中でとくにリスニング能力の育成に重点を置く。15回の授業をとおして受講生の日本語でのリスニング能力を向上させることを目的とする			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 日本人がゆっくり話していないものであっても、内容をつかむことができる。 2. 日本人の考え方や生活のスタイル、日本社会の抱える問題について理解し、学生生活を充実させることができる。			
成績評価の方法と基準 出席状況(1/3)、中間試験(1/3)、期末試験(1/3)による。出席状況には、授業態度や提出物を含む。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 【授業の方法】 最初は音声のみを聞き、画面や文字に頼らずどのくらい理解できるかを試し、内容についての質疑応答、ワークシートを用いた語彙・文法の学習をおこなう。最後にスクリプト（文字化資料）を見ながら確認する。			
(1) Introduction (2) 日本人と仕事 (1) (3) " (2) (4) " (3) (5) 日本人の食生活 (1) (6) " (2) (7) " (3) (8) 高齢化社会 (1) (9) " (2) (10) 気になることば (1) (11) " (2) (12) " (3) (13) 電話の応対 (1) (14) " (2) (15) まとめ (16) 期末試験			
【自学自習に関するアドバイス】 語彙・文法については授業で配布したプリントをよく復習しておくこと。テープは、授業の翌月から外国語自習室でダビングすることができるので、必要な場合は各自でおこなうこと。			
教科書・参考書等 授業中にプリントを配布する。			
オフィスアワー 月曜日 14:30～15:00 幸町北キャンパス4号館3階 研究室			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 聴解が中心といっても、内容は語彙、文法、表現など多岐にわたります。復習をしっかりとやりましょう。			

ナンバリングコード B2JPN-axxG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード:071402) 日本語IVb Japanese IVb Japanese IVb	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期金3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 早川 理代	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分×15回+自学自習			
授業の概要 日本の現代社会についてさまざまな角度から情報を得て日本語で表現することを学ぶ。			
授業の目的 さまざまな情報を整理し日本語で自ら表現するスキルを身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 現代社会の「多様化」という課題に気づくこと 2. 他者の考えを認めつつ、自らの結論を導き出すこと			
成績評価の方法と基準 出席、授業中の取り組み、提出物、期末テストの結果を総合評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1 授業の説明、ステレオタイプへの挑戦 2 - 4 女性の生き方 5 - 7 変わる教育 8 - 10 若者の感性 11 - 13 仕事への意識 14 - 15 ステレオタイプを越えて			
各週の課題についてしっかり考えること			
教科書・参考書等 中・上級日本語教科書 日本への招待 東京大学出版会			
オフィスアワー 質問がある場合は授業中に質問すること。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 分からないことがあれば、授業時間中に質問すること。			

ナンバリングコード B2JPN-axxG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 071501) 日本語 Va Japanese Va Japanese Va	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期金2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 早川 理代	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分×15回+自学自習			
授業の概要 発表の聞き取りと発表・質疑応答を練習する。			
授業の目的 うまく発表するためのテクニックを学び、どんな内容が話されるか予測できるようになり(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)、聞き取り発表の能力を伸ばすことができる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
自分の専門分野のレポートを他の学生の前で発表できる。			
成績評価の方法と基準 出席、期末テスト(あるいは発表レポート)による評価			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
発表を聞きワークブックを利用してメモを取る。 メモを参考に発表を文にする。 1～2回:ウォーミングアップ 3～4回:食中毒 5～6回:言葉と文化 7～8回:不登校 9～10回:高校生とバイク 11～12回:食料自給率 13～14回:子どもの生活習慣病 15～16回:よく飲まれる飲料について			
【自学自習に関するアドバイス】 各回の自作発表文を声に出して読み、録音する。 それを聴衆として聞き、発表としてできているかどうかチェックする。			
教科書・参考書等 アカデミック・スキルを身につける聴解・発表ワークブック 犬飼康弘著 スリーエーネットワーク 2,625円 第1回目の授業までに購入しておくこと。			
オフィスアワー 授業時間中に質問すること。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 分からないことがあれば、授業時間中に質問すること。			

ナンバリングコード B2JPN-abxG-10-Lg1 授業科目名 (時間割コード: 071502) 日本語Vb Japanese Vb 上級日本語 Advanced Japanese (Speaking & Writing)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lg	単位数 1	
担当教員名 佐藤 美穂	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分×15回+自学自習			
授業の概要 本授業では、大学で学ぶために必要な日本語の表現能力を向上させることを目指す。自己紹介やアンケートのとり方など様々な項目を扱う。			
授業の目的 大学生活に必要な日本語を効果的に表現する方法を学ぶ。トレーニングシートを完成させる作業を通して、日本語の表現能力を向上させることができる(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 聞く人、読む人に効果的な日本語の表現を使うことができる。 2. 効果的な日本語で書いたり話したりできる。			
成績評価の方法と基準 出席と授業参加状況 30%、課題提出40%、定期試験30%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
授業はトレーニングシートを中心に進められる。学生の答えを聞きながら、双方向的に授業を進める。必要に応じてグループ活動を行う。			
第1回 自己紹介 第2回 ノートのとり方 第3回 敬語の基礎 第4回 確実な連絡メモ 第5回 メールの書き方 第6回 手紙の書き方 第7回 説明のコツ 第8回 アンケートのとり方 第9回 資料の読み取り 第10回 効果的なプレゼンテーション① 第11回 効果的なプレゼンテーション② 第12回 確実なレポートの書き方① 第13回 確実なレポートの書き方② 第14回 履歴書の作成 第15回 自己アピール文の書き方 第16回 定期試験			
※内容や順序は状況に応じて一部変更する場合がある。			
【自主学习に関するアドバイス】 テーマごとに課題(トレーニングシート)の提出が求められるので、授業内容のポイントを整理して取り組むこと。			
教科書・参考書等 必要に応じて資料を配布するので、とくに購入しなくてよい。 購入しなくてもよいが、『大学生のための日本語表現トレーニングスキルアップ編』三省堂			
オフィスアワー 授業中			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 受講者は、日本留学試験(日本語)250点以上、または日本語能力試験1級合格以上の日本語能力が必要です。 授業内容は受講学生の状況に応じて変更する場合もあるが、積極的な授業参加、課題提出が評価に大きく影響する。			

ナンバリングコード B2JPN-axxG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 071601) 日本語VIa Japanese VIa Japanese VIa	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期金2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 早川 理代	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分×15回+自学自習			
授業の概要 新聞記事に関連したニュースを正確に聞き取り文章化する。			
授業の目的 ニュースを正確に聞き取り、聞きながらノートを取ることができる(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
授業中に板書されたものだけでなく、口答で述べられた説明を正確に書き取ることができる。			
成績評価の方法と基準 出席、書き取ったニュース文の提出。期末テストにより総合評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<p>ニュースを聞き、正確に書き取る。関連する新聞記事を読む。</p> <p>1～3回：気象、自然災害 4～6回：自己、社会問題 7～8回：調査記事、行政報告 10～12回：スポーツ 13～15回：政治、経済 16回：テスト</p> <p>【自学自習に関するアドバイス】 各週に挙げられた項目について日頃から新聞、インターネットなどから関連した記事を切り抜いたり、コピーしたりする。 関心のあるニュースについては短いニュースを聞き、書き取ってみる。</p>			
教科書・参考書等 ニュースで増やす上級への語彙・表現 木山三佳 著 アルク 2,310円 第1回目の授業までに購入しておくこと。			
オフィスアワー 質問がある場合は授業中に質問すること。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 分からないことがあれば、授業時間中に質問すること。			

ナンバリングコード B2JPN-abxG-10-Lg1 授業科目名 (時間割コード: 071602) 日本語VIb Japanese VIb 日本語VIb JapaneseVIb	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期末2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lg	単位数 1	
担当教員名 山下 直子	関連授業科目	日本語VIb、IVa、IVb	
	履修推奨科目	日本語VIa	
学習時間 講義90分×15回 + 自学自習			
授業の概要 本授業では、日本語上級レベルの四技能「聞く」「話す」「読む」「書く」を総合的に養成し、大学で学ぶために必要な日本語の運用能力をつけることをめざします。特に、レポートや論文を書くための準備を行います。			
授業の目的 この授業は、日本語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」）に対応の中で、特に書く能力の育成に重点を置きます。上級レベルの日本語の四技能のうち「書く」に関して、書き言葉と話し言葉の違いを知り、レポートや論文を書くときに使われる表現や文章の構成について理解し、大学で学ぶために必要な日本語の運用能力をつけることを目的とします。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
①書き言葉と話し言葉を区別できる。 ②レポートや論文でよく使われる表現を使って、文章を書くことができる。 ③文章の構成を考えて、レポートや論文を書くことができる。			
成績評価の方法と基準 出席状況と授業での積極性（15%）、作文課題（25%）、中間試験（20%）、期末試験（40%）により評価を行います。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 レポートや論文に必要な表現や文章の構成（展開のパターン）を序論・本論・結論という一般的な構成に即して学び、書く練習をします。 【授業計画】 第1・2回 レポートや論文の表現 第3回 論文構成 第4回 序章の表現1 論点提示 第5回 序章の表現2 研究目的 第6回 本論の表現1 研究方法 第7回 本論の表現2 結果 第8回 中間試験 第9回 本論の表現3 引用 第10回 本論の表現4 考察 第11回 本論の表現5 帰結 第12回 結論の表現 第13～15回 構成を考え文章を書く（新聞への投稿） 第16回 定期試験 【自学自習に関するアドバイス】 第1～2回 文体や原稿用紙の書き方について整理する 第3～5回 構成や序論の表現について整理する 第6回 本論で使われる表現について整理する 第7～8回 前半に学んだことを復習する 第9～11回 本論の表現について整理する 第12回 結論で使われる表現について整理する 第13～15回 テーマを決め資料を収集し文章をまとめる			
教科書・参考書等 必要に応じて資料を配布します。			
オフィスアワー 火曜日10:30から11:30 第一回目の授業時に連絡方法を説明します。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 受講者は、日本留学試験（日本語）250点以上、または日本語能力試験N1合格以上の日本語能力が必要です。			

ナンバリングコード B2JPN-axxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 072101) 日本事情 I a Japanese Affairs I a Japanese Affairs I a	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期金3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 早川 理代	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分×15回+自学自習			
授業の概要 日本社会の現状を知り、母国の現状を関連させ感想、意見を発表する。			
授業の目的 現代の日本のありさまを知ることで母国の現状をより深く理解できる。 自分の感想、意見を発表し話し合いのなかで他者を知ることができる。(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
日本と自国のよりよい関係を築くため、自分はどうあるべきかを考え、行動できる。			
成績評価の方法と基準 出席、感想文の提出、期末テストにより総合評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
教科書の本文の内容を質疑応答を通して理解し意見、感想をまとめる。 1～3回：生活 4～6回：少子高齢社会 7～8回：教育 9～10回：企業と労働 11～13回：科学技術と人間 14～15回：環境 16回：テスト			
【自学自習に関するアドバイス】 日々の生活の中で日本と自国との類似点、相違点を明確にするよう心がける。			
教科書・参考書等 留学生のための時代を読み解く上級日本語 宮原 彰 編 スリーエーネットワーク 2,100円 第1回目の授業までに購入しておくこと。			
オフィスアワー 質問がある場合は授業中に質問すること。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 分からないことがあれば授業中に質問すること。			

ナンバリングコード B2JPN-acbG-10-Lg2 授業科目名 (時間割コード: 072102) 日本事情 I b Japanese Affairs I b 日本事情 I b (Japanese affairs Ib)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期火3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 acbG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 植村 友香子	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 現代日本の社会・文化について基本的な知識を身につけ、他者と協働して学びながら自分の考えや主張を日本語で表現する能力を養う。			
授業の目的 現代日本について理解するために必要な基本的知識と語彙力を身につける。他者と協働して学ぶ学習スキルと表現力を養う。 (共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応。)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 現代日本の文化・社会を構成する多様な分野の知識を得る。 2. 授業で扱ったテーマについて、自分の言葉で説明することができる。 3. 他者と協働して学び、自分の考えを他者への配慮をもちつつ発信することができる。			
成績評価の方法と基準 ミニレポート(毎回提出) 50%、最終レポート 50%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
【授業計画】 第1週 インTRODクション, 日本ってどんな国?(地理、経済、政治) 第2週 都市の暮らし・地方の暮らし 第3週 日本の旅を楽しもう 第4週 いただきます! 第5週 年中行事 1 第6週 年中行事 2 第7週 日本の歴史 1 第8週 日本の歴史 2 第9週 伝統文化体験 第10週 現代文化とポップカルチャー 第11週 スポーツ 第12週 科学技術・環境 第13週 教育と子供たち 第14週 多文化共生社会 第15週 まとめ ※進捗状況の関係で進度が変更になる可能性があります。 【授業および学習の方法】 授業では様々なタスク(自分で何かを調べる、その内容をペアやグループで比べたり話し合ったりする、クラスで発表する)を行います。 【自学自習のためのアドバイス】 必ず予習をすること。			
教科書・参考書等 教科書 『クローズアップ日本事情15-日本語で学ぶ社会と文化』(The Japan Times) 注: 必ず教科書を購入して、第1回目の授業に来てください。			
オフィスアワー 火曜日 11時～12時(幸町・南3号館2階)			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 自ら考えるためのタネとして講義を聞き、日本に対する理解を深めてください。			

ナンバリングコード B2JPN-ebaG-10-Lg2 授業科目名 (時間割コード: 072201) 日本事情Ⅱa Japanese Affairs Ⅱa 日本事情Ⅱa	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期末3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 ebaG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 ロン リム	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 本授業は概ね二部構成で行われます。受講生は、授業の前半、香川の事情を理解するため、既存の記事を活用して読力や理解力を磨きます。授業の後半、受講生は、学年や国籍別等で、チームを結成して、グループワークをします。各チームは授業中で学んだテーマに基づいて、プレゼンテーションの準備をします。順番に授業中、プレゼンテーションをします。期末、プレゼンテーションの内容をレポート形式にして提出します。			
授業の目的 この授業は、日本語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の日本語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
受講生は日本語でプレゼンテーションに挑戦することによって、香川の事情を一層把握することができます。自分の意見や意思を第三者に発信（コミュニケーション）する能力を向上することができます。			
成績評価の方法と基準 以下の部分から総合的に評価をします。 (1) 予習の有無を含んで勉学の姿勢や授業参加 50% (2) プレゼンテーション 50% 無断欠席した場合、一回につき、5点減点となります。 期末試験は実施しません。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 授業の進み方は、以降の通りであります。前の週、教材を配布します。受講生は予習をして来ます。授業中、記事を輪読しながら、ディスカッションをします。後半の進み方は、取り上げられたテーマに基づいて、チームメンバーは話し合います。与えられた担当の部分、各自で資料などを調べて、プレゼンテーションの準備をします。プレゼンテーションはパワーポイント使用します。授業の最後に、プレゼンテーションした内容をレポート形式で提出します。(※各授業のテーマは変更の可能性あります。)			
1 ガイダンス、他己紹介シート記入 2 香川県のプロフィール（地勢、あゆみ、地名のいわれ、シンボル） 3 香川県のプロフィール（地勢、あゆみ、地名のいわれ、シンボル）（続） 4 香川県産業成長戦略 5 香川県産業成長戦略（続） 6 香川県産業成長戦略（続） 7 香川県農政部 8 香川県農政部（続） 9 香川県農政部（続） 10 香川県水産部 11 香川県水産部（続） 12 香川県水産部（続） 13 グループプレゼンテーション 14 グループプレゼンテーション 15 グループプレゼンテーション 16 予備日			
教科書・参考書等 教材は授業中配布されます。			
オフィスアワー 火曜日、13時～14時 「南キャンパス2号館、インターナショナルオフィス」			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 予習は必ずしてくる事です。			

ナンバリングコード B2JPN-axxG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード:073101) 初級日本語 I a I Elementary Japanese I a 初級日本語 I a	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 1Q月2~3	対象年次及び学科 1~全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 塩井 実香	関連授業科目	初級日本語II、初級日本事情	
	履修推奨科目	同上	
学習時間	学習時間	講義90分×15回(週2コマ) + 自学自習	
授業の概要 さぬきプログラムの一環として、日本語の基礎を習得する。			
授業の目的 本授業を含む日本語と日本事情が一体となったさぬきプログラムを通して、日本語によるコミュニケーション能力と日本に関する知識を学ぶ。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 日本語の基礎的な語彙がわかる。 2) 日本語初級の文法がわかる。 3) 上記の日本語の知識を実際に運用することができる。			
成績評価の方法と基準 1) 授業における取り組み: 60% 2) 各種小テスト: 40%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<実施時期> 前期: 4月中旬から5月末頃の7週間程度。 後期: 10月初旬から11月中旬頃の7週間程度。 <実施方法> 1週間あたり2コマで、合計15コマ。初級日本語Ia、Ib、Icは、全て受講すること。 (1) 発音とひらがな (2) カタカナ (3) あいさつ (4) 自己紹介 (5) 物の名前、持ち主 (6) 場所、値段、買い物 (7) 時刻、曜日、日常の行動 (8) 復習 (9) 乗り物の利用 (10) 基本的な行動、勧誘 (11) 物の授受、日本語での名称 (12) 事物の描写や感想 (13) 好悪、所有、理由 (14) 場所と存在 (15) 復習 <自学自習に関するアドバイス> 授業において課される課題を確実にしてくること。また、日常生活においても学習した知識を実践すること。			
教科書・参考書等 『みんなの日本語 初級I 本冊 第2版』 ただし、購入に関しては授業中に指示する。			
オフィスアワー オフィスアワーは木曜日の午後2時40分から4時10分まで、 研究室の場所は幸町北キャンパス(教育学部)5号館5階です。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 予習と復習をしてください。			

ナンバリングコード B2JPN-axxG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 073102) 初級日本語 I b1 Elementary Japanese I b Elementary Japanese Ib	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 1Q木2~3	対象年次及び学科 1~全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 高水 徹	関連授業科目	他の初級日本語	
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分×15回(週2コマ) + 自学自習			
授業の概要 さぬきプログラムの一環として、日本語の基礎を習得する。			
授業の目的 本授業を含む日本語と日本事情が一体となったさぬきプログラムを通して、日本語によるコミュニケーション能力(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応)と日本に関する知識を学ぶ。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 日本語の基礎的な語彙がわかる。 2) 日本語初級の文法がわかる。 3) 上記の日本語の知識を実際に運用することができる。			
成績評価の方法と基準 1) 授業における取り組み: 60% 2) 各種小テスト: 40%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<実施時期> 前期: 4月中旬から5月末頃の7週間程度。 後期: 10月初旬から11月中旬頃の7週間程度。 <実施方法> 1週間あたり2コマで、合計15コマ。初級日本語Ia、Ib、Icは、全て受講すること。 (1) 発音とひらがな (2) カタカナ (3) あいさつ (4) 自己紹介 (5) 物の名前、持ち主 (6) 場所、値段、買い物 (7) 時刻、曜日、日常の行動 (8) 復習 (9) 乗り物の利用 (10) 基本的な行動、勧誘 (11) 物の授受、日本語での名称 (12) 事物の描写や感想 (13) 好悪、所有、理由 (14) 場所と存在 (15) 復習 <自学自習に関するアドバイス> 授業において課される課題を確実にしてくること。また、日常生活においても学習した知識を実践すること。			
教科書・参考書等 『みんなの日本語 初級I 本冊 第2版』 ただし、購入に関しては授業中に指示する。			
オフィスアワー 火曜日 13:30~14:30、北5号館5階または南2号館1階。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 実際に日本語を使えるようになるためには、たくさん使うことが大切です。			

ナンバリングコード B2JPN-axxG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 073103) 初級日本語 I c1 Elementary Japanese I c 初級日本語 I c	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 1Q火2~3	対象年次及び学科 1~全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 塩井 実香	関連授業科目	初級日本語II、初級日本事情	
	履修推奨科目	同上	
学習時間 学習時間 講義90分×15回(週2コマ) + 自学自習			
授業の概要 さぬきプログラムの一環として、日本語の基礎を習得する。			
授業の目的 本授業を含む日本語と日本事情が一体となったさぬきプログラムを通して、日本語によるコミュニケーション能力と日本に関する知識を学ぶ。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 日本語の基礎的な語彙がわかる。 2) 日本語初級の文法がわかる。 3) 上記の日本語の知識を実際に運用することができる。			
成績評価の方法と基準 1) 授業における取り組み: 60% 2) 各種小テスト: 40%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<p><実施時期> 前期: 4月中旬から5月末頃の7週間程度。 後期: 10月初旬から11月中旬頃の7週間程度。</p> <p><実施方法> 1週間あたり2コマで、合計15コマ。初級日本語Ia、Ib、Icは、全て受講すること。</p> <p>(1) 発音とひらがな (2) カタカナ (3) あいさつ (4) 自己紹介 (5) 物の名前、持ち主 (6) 場所、値段、買い物 (7) 時刻、曜日、日常の行動 (8) 復習 (9) 乗り物の利用 (10) 基本的な行動、勧誘 (11) 物の授受、日本語での名称 (12) 事物の描写や感想 (13) 好悪、所有、理由 (14) 場所と存在 (15) 復習</p> <p><自学自習に関するアドバイス> 授業において課される課題を確実にしてくること。また、日常生活においても学習した知識を実践すること。</p>			
教科書・参考書等 『みんなの日本語 初級I 本冊 第2版』 ただし、購入に関しては授業中に指示する。			
オフィスアワー オフィスアワーは木曜日の午後2時40分から4時10分まで、 研究室の場所は幸町北キャンパス(教育学部)5号館5階です。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 予習と復習をしてください。			

ナンバリングコード B2JPN-axxG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 073201) 初級日本語ⅡaⅠ Elementary Japanese Ⅱa 初級日本語Ⅱa	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2Q月2～3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 塩井 実香	関連授業科目	初級日本語Ⅰ、初級日本事情	
	履修推奨科目	同上	
学習時間 学習時間 講義90分×15回(週2コマ) + 自学自習			
授業の概要 さぬきプログラムの一環として、日本語の基礎を習得する。			
授業の目的 本授業を含む日本語と日本事情が一体となったさぬきプログラムを通して、日本語によるコミュニケーション能力(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応)と日本に関する知識を学ぶ。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 日本語の基礎的な語彙がわかる。 2) 日本語初級の文法がわかる。 3) 上記の日本語の知識を実際に運用することができる。			
成績評価の方法と基準 1) 授業における取り組み: 60% 2) 各種小テスト: 40%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<実施時期> 前期: 6月頃から前期終了までの7週間程度。 後期: 11月下旬頃から後期終了までの7週間程度。 <実施方法> 1週間あたり2コマで、合計15コマ。初級日本語Ⅱa、Ⅱb、Ⅱcは、全て受講すること。 (1) 数量、人数、時間、期間 (2) 過去の描写や感想 (3) 欲求、行動の目的 (4) 依頼、指示 (5) 許可、禁止、状態、職業 (6) 行動とその順序、複数の描写 (7) 禁止、必須、必要性 (8) 可能/不可能、趣味 (9) 経験、変化 (10) 親しい者同士の会話 (11) 意見・感想・予想 (12) 詳しい描写 (13) 使用法、道順 (14) 行為の授受 (15) 仮定 <自学自習に関するアドバイス> 授業において課される課題を確実にしてくること。また、日常生活においても学習した知識を実践すること。			
教科書・参考書等 『みんなの日本語 初級Ⅰ 本冊 第2版』 ただし、購入に関しては授業中に指示する。			
オフィスアワー オフィスアワーは木曜日の午後2時40分から4時10分まで、 研究室の場所は幸町北キャンパス(教育学部)5号館5階です。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 予習と復習をしてください。			

ナンバリングコード B2JPN-axxG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 073202) 初級日本語 IIb Elementary Japanese IIb Elementary Japanese IIB	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2Q木2~3	対象年次及び学科 1~全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 高水 徹	関連授業科目	他の初級日本語	
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分×15回(週2コマ) + 自学自習			
授業の概要 さぬきプログラムの一環として、日本語の基礎を習得する。			
授業の目的 本授業を含む日本語と日本事情が一体となったさぬきプログラムを通して、日本語によるコミュニケーション能力(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応)と日本に関する知識を学ぶ。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 日本語の基礎的な語彙がわかる。 2) 日本語初級の文法がわかる。 3) 上記の日本語の知識を実際に運用することができる。			
成績評価の方法と基準 1) 授業における取り組み: 60% 2) 各種小テスト: 40%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<実施時期> 前期: 6月頃から前期終了までの7週間程度。 後期: 11月下旬頃から後期終了までの7週間程度。 <実施方法> 1週間あたり2コマで、合計15コマ。初級日本語IIa、IIb、IIcは、全て受講すること。 (1) 数量、人数、時間、期間 (2) 過去の描写や感想 (3) 欲求、行動の目的 (4) 依頼、指示 (5) 許可、禁止、状態、職業 (6) 行動とその順序、複数の描写 (7) 禁止、必須、必要性 (8) 可能/不可能、趣味 (9) 経験、変化 (10) 親しい者同士の会話 (11) 意見・感想・予想 (12) 詳しい描写 (13) 使用法、道順 (14) 行為の授受 (15) 仮定 <自学自習に関するアドバイス> 授業において課される課題を確実にしてくること。また、日常生活においても学習した知識を実践すること。			
教科書・参考書等 『みんなの日本語 初級I 本冊 第2版』 ただし、購入に関しては授業中に指示する。			
オフィスアワー 火曜日 13:30~14:30、北5号館5階または南2号館1階。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 実際に日本語を使えるようになるためには、たくさん使うことが大切です。			

ナンバリングコード B2JPN-axxG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 073203) 初級日本語ⅡcⅠ Elementary Japanese Ⅱc 初級日本語Ⅱc	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2Q火2~3	対象年次及び学科 1~全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 塩井 実香	関連授業科目	初級日本語Ⅰ、初級日本事情	
	履修推奨科目	同上	
学習時間 学習時間 講義90分×15回(週2コマ) + 自学自習			
授業の概要 さぬきプログラムの一環として、日本語の基礎を習得する。			
授業の目的 本授業を含む日本語と日本事情が一体となったさぬきプログラムを通して、日本語によるコミュニケーション能力(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応)と日本に関する知識を学ぶ。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 日本語の基礎的な語彙がわかる。 2) 日本語初級の文法がわかる。 3) 上記の日本語の知識を実際に運用することができる。			
成績評価の方法と基準 1) 授業における取り組み: 60% 2) 各種小テスト: 40%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<実施時期> 前期: 6月頃から前期終了までの7週間程度。 後期: 11月下旬頃から後期終了までの7週間程度。 <実施方法> 1週間あたり2コマで、合計15コマ。初級日本語Ⅱa、Ⅱb、Ⅱcは、全て受講すること。 (1) 数量、人数、時間、期間 (2) 過去の描写や感想 (3) 欲求、行動の目的 (4) 依頼、指示 (5) 許可、禁止、状態、職業 (6) 行動とその順序、複数の描写 (7) 禁止、必須、必要性 (8) 可能/不可能、趣味 (9) 経験、変化 (10) 親しい者同士の会話 (11) 意見・感想・予想 (12) 詳しい描写 (13) 使用法、道順 (14) 行為の授受 (15) 仮定 <自学自習に関するアドバイス> 授業において課される課題を確実にしてくること。また、日常生活においても学習した知識を実践すること。			
教科書・参考書等 『みんなの日本語 初級Ⅰ 本冊 第2版』 ただし、購入に関しては授業中に指示する。			
オフィスアワー オフィスアワーは木曜日の午後2時40分から4時10分まで、 研究室の場所は幸町北キャンパス(教育学部)5号館5階です。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 予習と復習をしてください。			

ナンバリングコード B2JPN-axxG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 073301) 初級日本語 I a Elementary Japanese I a 初級日本語 I a	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 3Q月2~3	対象年次及び学科 1~全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 塩井 実香	関連授業科目	初級日本語II、初級日本事情	
	履修推奨科目	同上	
学習時間	学習時間	講義90分×15回(週2コマ) + 自学自習	
授業の概要 さぬきプログラムの一環として、日本語の基礎を習得する。			
授業の目的 本授業を含む日本語と日本事情が一体となったさぬきプログラムを通して、日本語によるコミュニケーション能力(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応)と日本に関する知識を学ぶ。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 日本語の基礎的な語彙がわかる。 2) 日本語初級の文法がわかる。 3) 上記の日本語の知識を実際に運用することができる。			
成績評価の方法と基準 1) 授業における取り組み: 60% 2) 各種小テスト: 40%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<p><実施時期> 前期: 4月中旬から5月末頃の7週間程度。 後期: 10月初旬から11月中旬頃の7週間程度。</p> <p><実施方法> 1週間あたり2コマで、合計15コマ。初級日本語Ia、Ib、Icは、全て受講すること。</p> <p>(1) 発音とひらがな (2) カタカナ (3) あいさつ (4) 自己紹介 (5) 物の名前、持ち主 (6) 場所、値段、買い物 (7) 時刻、曜日、日常の行動 (8) 復習 (9) 乗り物の利用 (10) 基本的な行動、勧誘 (11) 物の授受、日本語での名称 (12) 事物の描写や感想 (13) 好悪、所有、理由 (14) 場所と存在 (15) 復習</p> <p><自学自習に関するアドバイス> 授業において課される課題を確実にしてくること。また、日常生活においても学習した知識を実践すること。</p>			
教科書・参考書等 『みんなの日本語 初級I 本冊 第2版』 ただし、購入に関しては授業中に指示する。			
オフィスアワー オフィスアワーは木曜日の午後2時40分から4時10分まで、 研究室の場所は幸町北キャンパス(教育学部)5号館5階です。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 予習と復習をしてください。			

ナンバリングコード B2JPN-axxG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 073302) 初級日本語 I bロ Elementary Japanese I b Elementary Japanese Ib	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 3Q木2~3	対象年次及び学科 1~全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 高水 徹	関連授業科目 履修推奨科目	他の初級日本語	
学習時間 講義90分×15回(週2コマ) + 自学自習			
授業の概要 さぬきプログラムの一環として、日本語の基礎を習得する。			
授業の目的 本授業を含む日本語と日本事情が一体となったさぬきプログラムを通して、日本語によるコミュニケーション能力(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応)と日本に関する知識を学ぶ。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 日本語の基礎的な語彙がわかる。 2) 日本語初級の文法がわかる。 3) 上記の日本語の知識を実際に運用することができる。			
成績評価の方法と基準 1) 授業における取り組み: 60% 2) 各種小テスト: 40%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<実施時期> 前期: 4月中旬から5月末頃の7週間程度。 後期: 10月初旬から11月中旬頃の7週間程度。 <実施方法> 1週間あたり2コマで、合計15コマ。初級日本語Ia、Ib、Icは、全て受講すること。 (1) 発音とひらがな (2) カタカナ (3) あいさつ (4) 自己紹介 (5) 物の名前、持ち主 (6) 場所、値段、買い物 (7) 時刻、曜日、日常の行動 (8) 復習 (9) 乗り物の利用 (10) 基本的な行動、勧誘 (11) 物の授受、日本語での名称 (12) 事物の描写や感想 (13) 好悪、所有、理由 (14) 場所と存在 (15) 復習 <自学自習に関するアドバイス> 授業において課される課題を確実にしてくること。また、日常生活においても学習した知識を実践すること。			
教科書・参考書等 『みんなの日本語 初級I 本冊 第2版』 ただし、購入に関しては授業中に指示する。			
オフィスアワー 火曜日 13:30~14:30、北5号館5階または南2号館1階。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 実際に日本語を使えるようになるためには、たくさん使うことが大切です。			

ナンバリングコード B2JPN-axxG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 073303) 初級日本語 I cロ Elementary Japanese I c Elementary Japanese Ic	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 3Q金1~2	対象年次及び学科 1~全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 高水 徹	関連授業科目	他の初級日本語	
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分×15回(週2コマ) + 自学自習			
授業の概要 さぬきプログラムの一環として、日本語の基礎を習得する。			
授業の目的 本授業を含む日本語と日本事情が一体となったさぬきプログラムを通して、日本語によるコミュニケーション能力(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応)と日本に関する知識を学ぶ。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 日本語の基礎的な語彙がわかる。 2) 日本語初級の文法がわかる。 3) 上記の日本語の知識を実際に運用することができる。			
成績評価の方法と基準 1) 授業における取り組み: 60% 2) 各種小テスト: 40%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<実施時期> 前期: 4月中旬から5月末頃の7週間程度。 後期: 10月初旬から11月中旬頃の7週間程度。 <実施方法> 1週間あたり2コマで、合計15コマ。初級日本語Ia、Ib、Icは、全て受講すること。 (1) 発音とひらがな (2) カタカナ (3) あいさつ (4) 自己紹介 (5) 物の名前、持ち主 (6) 場所、値段、買い物 (7) 時刻、曜日、日常の行動 (8) 復習 (9) 乗り物の利用 (10) 基本的な行動、勧誘 (11) 物の授受、日本語での名称 (12) 事物の描写や感想 (13) 好悪、所有、理由 (14) 場所と存在 (15) 復習 <自学自習に関するアドバイス> 授業において課される課題を確実にしてくること。また、日常生活においても学習した知識を実践すること。			
教科書・参考書等 『みんなの日本語 初級I 本冊 第2版』 ただし、購入に関しては授業中に指示する。			
オフィスアワー 火曜日 13:30~14:30、北5号館5階または南2号館1階。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 実際に日本語を使えるようになるためには、たくさん使うことが大切です。			

ナンバリングコード B2JPN-axxG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 073401) 初級日本語Ⅱaロ Elementary Japanese Ⅱa 初級日本語Ⅱa	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 4Q月2～3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 塩井 実香	関連授業科目	初級日本語Ⅰ、初級日本事情	
	履修推奨科目	同上	
学習時間 学習時間 講義90分×15回(週2コマ) + 自学自習			
授業の概要 さぬきプログラムの一環として、日本語の基礎を習得する。			
授業の目的 本授業を含む日本語と日本事情が一体となったさぬきプログラムを通して、日本語によるコミュニケーション能力(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応)と日本に関する知識を学ぶ。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 日本語の基礎的な語彙がわかる。 2) 日本語初級の文法がわかる。 3) 上記の日本語の知識を実際に運用することができる。			
成績評価の方法と基準 1) 授業における取り組み: 60% 2) 各種小テスト: 40%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<実施時期> 前期: 6月頃から前期終了までの7週間程度。 後期: 11月下旬頃から後期終了までの7週間程度。 <実施方法> 1週間あたり2コマで、合計15コマ。初級日本語Ⅱa、Ⅱb、Ⅱcは、全て受講すること。 (1) 数量、人数、時間、期間 (2) 過去の描写や感想 (3) 欲求、行動の目的 (4) 依頼、指示 (5) 許可、禁止、状態、職業 (6) 行動とその順序、複数の描写 (7) 禁止、必須、必要性 (8) 可能/不可能、趣味 (9) 経験、変化 (10) 親しい者同士の会話 (11) 意見・感想・予想 (12) 詳しい描写 (13) 使用法、道順 (14) 行為の授受 (15) 仮定 <自学自習に関するアドバイス> 授業において課される課題を確実にしてくること。また、日常生活においても学習した知識を実践すること。			
教科書・参考書等 『みんなの日本語 初級Ⅰ 本冊 第2版』 ただし、購入に関しては授業中に指示する。			
オフィスアワー オフィスアワーは木曜日の午後2時40分から4時10分まで、 研究室の場所は幸町北キャンパス(教育学部)5号館5階です。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 予習と復習をしてください。			

ナンバリングコード B2JPN-axxG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 073402) 初級日本語 IIbロ Elementary Japanese IIb Elementary Japanese IIB	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 4Q木2~3	対象年次及び学科 1~全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 高水 徹	関連授業科目	他の初級日本語	
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分×15回(週2コマ) + 自学自習			
授業の概要 さぬきプログラムの一環として、日本語の基礎を習得する。			
授業の目的 本授業を含む日本語と日本事情が一体となったさぬきプログラムを通して、日本語によるコミュニケーション能力(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応)と日本に関する知識を学ぶ。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 日本語の基礎的な語彙がわかる。 2) 日本語初級の文法がわかる。 3) 上記の日本語の知識を実際に運用することができる。			
成績評価の方法と基準 1) 授業における取り組み: 60% 2) 各種小テスト: 40%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<実施時期> 前期: 6月頃から前期終了までの7週間程度。 後期: 11月下旬頃から後期終了までの7週間程度。 <実施方法> 1週間あたり2コマで、合計15コマ。初級日本語IIa、IIb、IIcは、全て受講すること。 (1) 数量、人数、時間、期間 (2) 過去の描写や感想 (3) 欲求、行動の目的 (4) 依頼、指示 (5) 許可、禁止、状態、職業 (6) 行動とその順序、複数の描写 (7) 禁止、必須、必要性 (8) 可能/不可能、趣味 (9) 経験、変化 (10) 親しい者同士の会話 (11) 意見・感想・予想 (12) 詳しい描写 (13) 使用法、道順 (14) 行為の授受 (15) 仮定 <自学自習に関するアドバイス> 授業において課される課題を確実にしてくること。また、日常生活においても学習した知識を実践すること。			
教科書・参考書等 『みんなの日本語 初級I 本冊 第2版』 ただし、購入に関しては授業中に指示する。			
オフィスアワー 火曜日 13:30~14:30、北5号館5階または南2号館1階。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 実際に日本語を使えるようになるためには、たくさん使うことが大切です。			

ナンバリングコード B2JPN-axxG-10-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 073403) 初級日本語Ⅱcロ Elementary Japanese IIc Elementary Japanese IIC	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 4Q金1~2	対象年次及び学科 1~全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 高水 徹	関連授業科目	他の初級日本語	
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分×15回(週2コマ) + 自学自習			
授業の概要 さぬきプログラムの一環として、日本語の基礎を習得する。			
授業の目的 本授業を含む日本語と日本事情が一体となったさぬきプログラムを通して、日本語によるコミュニケーション能力(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応)と日本に関する知識を学ぶ。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 日本語の基礎的な語彙がわかる。 2) 日本語初級の文法がわかる。 3) 上記の日本語の知識を実際に運用することができる。			
成績評価の方法と基準 1) 授業における取り組み: 60% 2) 各種小テスト: 40%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<実施時期> 前期: 6月頃から前期終了までの7週間程度。 後期: 11月下旬頃から後期終了までの7週間程度。 <実施方法> 1週間あたり2コマで、合計15コマ。初級日本語IIa、IIb、IIcは、全て受講すること。 (1) 数量、人数、時間、期間 (2) 過去の描写や感想 (3) 欲求、行動の目的 (4) 依頼、指示 (5) 許可、禁止、状態、職業 (6) 行動とその順序、複数の描写 (7) 禁止、必須、必要性 (8) 可能/不可能、趣味 (9) 経験、変化 (10) 親しい者同士の会話 (11) 意見・感想・予想 (12) 詳しい描写 (13) 使用法、道順 (14) 行為の授受 (15) 仮定 <自学自習に関するアドバイス> 授業において課される課題を確実にしてくること。また、日常生活においても学習した知識を実践すること。			
教科書・参考書等 『みんなの日本語 初級I 本冊 第2版』 ただし、購入に関しては授業中に指示する。			
オフィスアワー 火曜日 13:30~14:30、北5号館5階または南2号館1階。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 実際に日本語を使えるようになるためには、たくさん使うことが大切です。			

ナンバリングコード B2JPN-cabG-10-Lf2 授業科目名 (時間割コード: 074101) 初級日本事情a1 Japanese Current Affairs a Begin Japanology -Containers and Interactions-	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期Thu. 4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 cabG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lf	単位数 2	
担当教員名 植村 友香子	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 lecture (90 min.)×15			
授業の概要 This course aims to offer international students opportunities to deepen their understandings of some aspects of Japanese culture through observations in three fields; architecture, lacquerware and the tea ceremony.			
授業の目的 1. Students understand some aspects of the regional culture of Kagawa in relation to the larger context of Japanese cultural history. 2. Students are able to discuss effectively about topics relating to the contents of this course both orally and in written form.			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. Students are able to explain some basic concepts concerning Japanese history and culture by contrasting their own country based on the knowledge gained in the class, on their experiences and observations. 2. Students are able to analyze and explain the characteristics of Kagawa as "Art Prefecture" in the broader context of Japanese cultural history.			
成績評価の方法と基準 lecture journal of each lesson 40%, presentation 40%, final essay 20%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1 Orientation : "Begin Japanology" : Containers & Interactions 2 Introduction: An overview of the history and geography of Japan 3 Presentation by students: the concise history of your country 4 Basic principles of Japanese architecture 5 Presentation by students: the most typical architecture in your culture 6 Shinto Shrines 7 Buddhist Temples 8 Castles 9 Traditional Folk Houses 10 Discussion 11 URUSHI and Kagawa Lacquerware 12 Tea Ceremony 13 Tea House, garden & utensils 14 Presentation by students ※ 15 Presentation by students ※			
※In order to prepare for the presentation, students are required to visit local architectural sites and museums as field work.			
教科書・参考書等 Handout will be prepared for each lesson by the instructor.			
オフィスアワー Tuesday 11:00-12:00 (South Block 3, 2nd floor)			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ Field work is involved in this course: students must visit at least three cultural/historical sites of Takamatsu region.			

ナンバリングコード B2JPN-becG-10-Lg2 授業科目名 (時間割コード: 074102) 初級日本事情b Japanese Current Affairs b 初級日本事情b (Japanese Current Affairs b)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期月4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 becG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 野田 久尚	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、国の発展に必要な様々な開発課題に対して、明治以降わが国がどのように取り組んできたのかを学ぶと共に、途上国であった日本が、現在は先進国として途上国に開発協力を展開している事例を通し、グローバルな時代における共生のあり方を学びます。本授業は「さぬきプログラム」対象留学生向けであり、講義及びディスカッション等の活動は全て英語で行います。			
授業の目的 この授業では、現代日本の文化・社会事情や明治維新以後の日本の開発経験、開発途上国への協力経験を学習するとともに、社会制度や産業などに関する日本語の語彙を増やすことを目的とします。(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応。)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 様々な開発課題に対するわが国の明治以降の取り組みとその成果及び問題点について説明ができる。 2. わが国の開発途上国に対する開発協力の概要とその手法について説明ができる。			
成績評価の方法と基準 授業における取組・発問・参加 (30%)、課題への回答、レポート (30%)、期末レポート (40%) により評価を行います。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
【授業計画】 第1回 イントロダクションⅠ (香川の地理と歴史) 第2回 イントロダクションⅡ (日本の歴史と文化) 第3回 わが国開発課題への対応 (学校教育) 第4回 わが国開発課題への対応 (保健医療) 第5回 わが国開発課題への対応 (社会保障制度) 第6回 わが国開発課題への対応 (相対的貧困問題) 第7回 わが国開発課題への対応 (少子高齢化) 第8回 中間まとめ・ワークショップ 第9回 わが国開発課題への対応 (産業振興) 第10回 わが国開発課題への対応 (農林水産業) 第11回 わが国開発課題への対応 (エネルギー) 第12回 わが国開発課題への対応 (環境) 第13回 わが国開発課題への対応 (運輸交通) 第14回 ワークショップ 第15回 まとめ 上記は予定であり、詳細は最初の授業の際に説明する。			
【授業及び学習の方法】 各回テーマに沿って、わが国の開発の取り組み概要を問答形式で説明するとともに、受講者の出身国が抱える類似課題との比較、対応の相違点とその理由等についてディスカッションを行います。 受講者は各回のテーマに関して自身の出身国が抱える課題を事前に下調べし、簡単な発表ができるようにしておくことが求められます。			
教科書・参考書等 教科書は使用しません。参考図書等は適宜紹介します。			
オフィスアワー 火曜日3時限目 (13:00～14:30)、他の時間はメールにて事前連絡のこと。研究室は幸町キャンパス南3号館2階			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ この授業は、「さぬきプログラム」対象留学生のための授業であり、日本人学生は受講できません (聴講は可能)。授業は英語で行います。			

ナンバリングコード B2JPN-becG-10-Lg2 授業科目名 (時間割コード: 074102) 初級日本事情b1 Japanese Current Affairs b Japanese Current Affairs b	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期Mon. 4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 becG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 野田 久尚	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 Lecture 90 minutes x 15 times + Self study			
授業の概要 This course is designed to study how Japan solved development challenges after the Meiji Restoration, and how Japan helps the development of developing countries as one of developed countries. This course is for "Sanuki Program" international students. All lectures and other related activities in this course will be conducted in English.			
授業の目的 Students learn how Japan solved development challenges thorough Japan's experience after the Meiji Restrastion. Also students learn how to co-exist in the international community as a member of globalized world.			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
Student must explain; 1) how Japan tried to solve development challenges after the Meiji Restoration; and 2) how Japan cooperate with developing countries.			
成績評価の方法と基準 Attendance and attitude of participation to the class (30%), Assignments and mini-report at the end of each class (30%), Final report (40%)			
授業計画並びに授業及び学習の方法 1st: Introduction(1) Geography and history of Kagawa region 2nd: Introduction(2) History and culture of Japan 3rd: Japan's experience of development (School education system) 4th: Japan's experience of development (Health service) 5th: Japan's experience of development (Social security system) 6th: Japan's experience of development (Relative poverty problem) 7th: Japan's experience of development (Aging society) 8th: Mid-term summary and workshop 9th: Japan's experience of development (Development of industry) 10th: Japan's experience of development (Agriculture, fishery and forestry) 11th: Japan's experience of development (Energy) 12th: Japan's experience of development (Environment) 13th: Japan's experience of development (Transport) 14th: Final workshop 15th: Final summary Students are expected to study on the relevant issues of their home countries in advance, and make a brief presentation every class.			
教科書・参考書等 No textbook required. References are announced in case of need.			
オフィスアワー Every Tuesday 13:00-14:30. Other day and time available on request by e-mail in advance. Saiwaicho south block 3, 2nd floor.			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ This course is designed for "Sanuki Program" international students.			

ナンバリングコード B2JPN-cabG-10-Lf2 授業科目名 (時間割コード: 074201) 初級日本事情aロ Japanese Current Affairs a Begin Japanology -Containers and Interactions-	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期Thu. 4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 cabG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lf	単位数 2	
担当教員名 植村 友香子	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 lecture (90 min.)×15			
授業の概要 This course aims to offer international students opportunities to deepen their understandings of some aspects of Japanese culture through observations in three fields; architecture, lacquerware and the tea ceremony.			
授業の目的 1. Students understand some aspects of the regional culture of Kagawa in relation to the larger context of Japanese cultural history. 2. Students are able to discuss effectively about topics relating to the contents of this course both orally and in written form.			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. Students are able to explain some basic concepts concerning Japanese history and culture by contrasting their own country based on the knowledge gained in the class, on their experiences and observations. 2. Students are able to analyze and explain the characteristics of Kagawa as "Art Prefecture" in the broader context of Japanese cultural history.			
成績評価の方法と基準 lecture journal of each lesson 40%, presentation & it's material 40%, final essay 20%			
授業計画並びに授業及び学習の方法 1 Orientation: "Begin Japanology": Containers & Interactions 2 Introduction: An overview of the history and geography of Japan 3 Presentation by students: the concise history of your country 4 Basic principles of Japanese architecture 5 Presentation: the most typical architecture in your culture 6 Shinto Shrines 7 Buddhist Temples 8 Castles 9 Traditional Folk Houses 10 Discussion 11 URUSHI and Kagawa Lacquerware 12 Tea Ceremony 13 Tea House, garden & utensils 14 Presentation by students ※ 15 Presentation by students ※ ※In order to prepare for the presentation, students are required to visit local architectural sites and museums as feild work.			
教科書・参考書等 Handout will be prepared for each lesson by the instructor.			
オフィスアワー Tuesday 11:00-12:00 (South Block 3, 2nd floor)			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ Field work is involved in this course: students must visit at least three cultural/historical sites of Takamatsu region.			

ナンバリングコード B2JPN-becG-10-Lg2 授業科目名 (時間割コード: 074202) 初級日本事情bロ Japanese Current Affairs b 初級日本事情b (Japanese Current Affairs b)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期月4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 becG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 野田 久尚	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、国の発展に必要な様々な開発課題に対して、明治以降が国がどのように取り組んできたのかを学ぶと共に、途上国であった日本が、現在は先進国として途上国に開発協力を展開している事例を通し、グローバルな時代における共生のあり方を学びます。本授業は「さぬきプログラム」対象留学生向けであり、講義及びディスカッション等の活動は全て英語で行います。			
授業の目的 この授業では、現代日本の文化・社会事情や明治維新以後の日本の開発経験、開発途上国への協力経験を学習するとともに、社会制度や産業などに関する日本語の語彙を増やすことを目的とします。(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応。)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 様々な開発課題に対するわが国の明治以降の取り組みとその成果及び問題点について説明ができる。 2. わが国の開発途上国に対する開発協力の概要とその手法について説明ができる。			
成績評価の方法と基準 授業における取組・発問・参加 (30%)、課題への回答、レポート (30%)、期末レポート (40%) により評価を行います。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
【授業計画】 第1回 イントロダクションⅠ (香川の地理と歴史) 第2回 イントロダクションⅡ (日本の歴史と文化) 第3回 わが国開発課題への対応 (学校教育) 第4回 わが国開発課題への対応 (保健医療) 第5回 わが国開発課題への対応 (社会保障制度) 第6回 わが国開発課題への対応 (相対的貧困問題) 第7回 わが国開発課題への対応 (少子高齢化) 第8回 中間まとめ・ワークショップ 第9回 わが国開発課題への対応 (産業振興) 第10回 わが国開発課題への対応 (農林水産業) 第11回 わが国開発課題への対応 (エネルギー) 第12回 わが国開発課題への対応 (環境) 第13回 わが国開発課題への対応 (運輸交通) 第14回 ワークショップ 第15回 まとめ 上記は予定であり、詳細は最初の授業の際に説明する。			
【授業及び学習の方法】 各回テーマに沿って、わが国の開発の取り組み概要を問答形式で説明するとともに、受講者の出身国が抱える類似課題との比較、対応の相違点とその理由等についてディスカッションを行います。 受講者は各回のテーマに関して自身の出身国が抱える課題を事前に下調べし、簡単な発表ができるようにしておくことが求められます。			
教科書・参考書等 教科書は使用しません。参考図書等は適宜紹介します。			
オフィスアワー 火曜日3時限目 (13:00～14:30)、他の時間はメールにて事前連絡のこと。研究室は幸町キャンパス南3号館2階			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ この授業は、「さぬきプログラム」対象留学生のための授業であり、日本人学生は受講できません (聴講は可能)。授業は英語で行います。			

ナンバリングコード B2JPN-becG-10-Lg2 授業科目名 (時間割コード: 074202) 初級日本事情bロ Japanese Current Affairs b Japanese Current Affairs b	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期Mon. 4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2JPN	DP・提供部局 becG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lg	単位数 2	
担当教員名 野田 久尚	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 Lecture 90 minutes x 15 times + Self study			
授業の概要 This course is designed to study how Japan solved development challenges after the Meiji Restoration, and how Japan helps the development of developing countries as one of developed countries. This course is for "Sanuki Program" international students. All lectures and other related activities in this course will be conducted in English.			
授業の目的 Students learn how Japan solved development challenges thorough Japan's experience after the Meiji Restrastion. Also students learn how to co-exist in the international community as a member of globalized world.			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
Student must explain; 1) how Japan tried to solve development challenges after the Meiji Restoration; and 2) how Japan cooperate with developing countries.			
成績評価の方法と基準 Attendance and attitude of participation to the class (30%), Assignments and mini-report at the end of each class (30%), Final report (40%)			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1st: Introduction(1) Geography and history of Kagawa region 2nd: Introduction(2) History and culture of Japan 3rd: Japan's experience of development (School education system) 4th: Japan's experience of development (Health service) 5th: Japan's experience of development (Social security system) 6th: Japan's experience of development (Relative poverty problem) 7th: Japan's experience of development (Aging society) 8th: Mid-term summary and workshop 9th: Japan's experience of development (Development of industry) 10th: Japan's experience of development (Agriculture, fishery and forestry) 11th: Japan's experience of development (Energy) 12th: Japan's experience of development (Environment) 13th: Japan's experience of development (Transport) 14th: Final workshop 15th: Final summary Students are expected to study on the relevant issues of their home countries in advance, and make a brief presentation every class.			
教科書・参考書等 No textbook required. References are announced in case of need.			
オフィスアワー Every Tuesday 13:00-14:30. Other day and time available on request by e-mail in advance. Saiwaicho south block 3, 2nd floor.			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ This course is designed for "Sanuki Program" international students.			